



TITLE:

新刊[即]報

AUTHOR(S):

CITATION:

新刊[即]報. 地球 1932, 17(5): 398-400

ISSUE DATE:

1932-05-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/184034>

RIGHT:

てゐた。

法廷に於てはボムピリアもカボンサツキも共に凡ての質問に對して簡單な言葉で而かも確かりとした返答をなしてゐる。兩人の口供が必ずしも全部符合してゐなかつたけれども、兩人の間には何等疚ましき關係がなかつたことを印象づけるやうに道德的確信を全體として作るに役立つた。僧の云ひ分は虐待をうけてゐる哀な婦人を救出する爲めに義侠心から同道をしたに止まると云ふのである。僅かな不一致の口供はとるに足らぬものであつた。然し如何に道德的確信が確乎不拔のものであつても、それが直に法律上の證據にはならない。また偽證の問題も起らなかつた。法廷はこの事件について何れともきつぱりと判斷し兼ねた。とに角カボンサツキに對してはボムピリア即ちフランチェスカ・ボムピリア・コムバリニと云ふ他人の妻の逃亡と錯行とに共犯者たること及び僧の身分でありながらボムピリアと餘りに多く親密になり過ぎた

と云ふ廉で僧はチヴィタ・ヴェキア (Civita Vecchia) に三年間追放されることを宣告され、ボムピリアは一時尼院托けにすることを云ひ渡された。法廷では兩人は有罪なりと認めたが、その所謂は只名義ばかりの所謂を加へたのである。この判決ではギド伯は勿論満足しなかつた。

この審問及び裁判の記録は傳記的に書かれて居り劇的興味を多分に持つものである。上述の如く裁判の結果が曖昧であり、後の禍を包藏してゐるらしく思へる。證據の手紙についてもボムピリアがよしんば無筆の女でないにしても教育のない女の書けさうに思はれぬ手紙である。事件の真相と判決は關係者をして益々次の手段を計畫せしめるやうなものに過ぎなかつた。

(この項つゞく)

新刊即報

○日本古版地圖集成

栗田元次 著
博多成象堂發行
特價 金拾六圓

廣島文理科大學の栗田教授は夙に地圖の蒐集を以て任じて

ゐられるが、今度愈々この地圖集成の第一輯を出して、この後第二、第三に及ぶ計畫であるといふ。本圖集では珍らしいと考へらるゝ古地圖凡九十枚をコロタイプ版にして發行したのである。筆者は嘗て平安京變遷史で、京都の古地圖を集めて出版したが、その際も紙面が狭いために、見えにくいといふ批難をうけた。本圖集の中には、いかにもよく見え、明に讀めるものもあるが、しかし中には小生が嘗めた苦い經驗を示めすものが多い。も少し明瞭に表現することが出来たらばと考へる。

従つて古地圖を出すに當つては、其價格は問題にしないで豫約をして必要なだけ、原本の複製をするか、原本があまり大なる場合には、實物四分一大位にしたものを刊行するやうにあらう。現に本圖集中に於て高橋景保の新訂萬國全圖の如き、長久保赤水の改正日本輿地路程全圖のごとき、全く字が細くてとてもよめない、しかもこの兩圖のごときは我國で出来たものゝ中、云はば全くの國産品であつて、舶來の香が最も少く、且最も研究すべき資料にとめるものであるから少し鮮明にしたい、これではたゞ外廓だけしかわからぬ。しかし正保の萬國總圖や、慶安の日本圖の如きは、形もわるいし記事も簡單だから、この圖集の上で讀解が出来ればとも大日本圖鑑となるとこの版では讀めない、貞享四年版の本朝圖鑑綱目はテレキにものつてゐる巴里の博物館に保存されてゐる程の由緒をもつた地圖である。これも其内容は、見方

によつてはつまらぬものかされないが、地圖發達史の上から見ると、いろ／＼の問題を提供する良圖である。しかし本圖集ではそれが十分によめない恨があると考へるが、どうであらうか。橋本宗吉のオランダ新譯地球全圖でも、少し大形にとつて、せめて眼鏡でその記述してある地誌がよめる位にあつてほしいと考へるが、どうであらうか。本圖集はさうした世界及日本の外に地方圖、國圖、町圖、交通圖、時事圖、歴史圖、境域圖の各種が集めてある。その中には唐國全圖のやうなまづいものがないではないが、すべて珍らしいものとはいへる。この部でも京や大阪、江戸の圖はこの圖集の型に狭めると全くよめなくなるものが多い。折角こゝまで珍らしいものを採訪された努力からみて、もう少し出版の工夫はつかないであらうか。古地圖複製會とかいつたものをつくつてみてはどうであらうか。勿論其賣價は高くなつて、うれなにかもしれぬが、古い美術ものゝ複製がうれることを考へると、萬更でもないであらう。とにかくさうした氣運を導くために本地圖集の賣行が大に進んで、とてもこれでは満足しなくなるやうに世の中が進歩することを切望するものである。

最後に栗田氏の附録とした解説は一冊子をなし簡にして要を得たものであることを附言して、廣く本書を江湖に紹介する。(藤田)

○景觀地理教授法

山本熊太郎著
古今書院發行
定價一圓二十錢

四六版一四三頁の小冊子である、著者の経験から地理の教授法はかくあるべきだといふ意見を表白したものである。何分短かい紙面であるから語つて詳ならざるを得ない處があるやうである。

雜報

○地球學團、東京地質學會、日本岩石礦物礦床學會、日本火山學會聯合講演會

既報の如く四月二日三日の兩日に互り京都帝國大學工學部共同講義室に於て行はれ出席者約二百名に達し遠く北海道、九州より會同せし多數の學者ありて盛會を極めた。講演六十の内、地球學團員の行ひたものを擧げると次の如くである。

中央日本水河作用の遺跡と堆積物
信濃仁科山脈に産する石英閃長岩様アルカリ岩類

小川 琢治

所謂古銅石安山岩に就いて
巖陵島火山の拋出物に就いて

笹倉 正夫
吉澤 市

吉備高原の洪積世礫層と其の變位
關東地方の新第三系の對比

春本 篤夫
竹山 俊雄

關東地方の新第三系の對比
關東州の震旦系

大塚彌之助
松下 進

八尾第三紀層特に含有孔蟲岩の分布に就きて

今村 外治

四國外帶の中生層
遠州の満水層問題
河内國堅上村地之地寫眞説明
河内國堅上村に於ける地之運動測定の結果に就いて

斜長石の透電恒數に就いて
黃鐵礦の電氣化學的現象
一光軸化現象を伴ふ二光軸結果(特に斜方及單斜結品)の光軸面の變化に就いて

分極現象を利用する新電氣探礦法
硫化鐵礦の解離壓に就いて
横ノ尾山斷層に就いて

本邦油田の地質構造的區分
京都市四條通を通ずる東西斷層に就いて
大阪市上町と下町との關係に就いて

平壤炭田南方外域の複雑な地質構造
大阪府待兼山產高師小僧
田上山の礦物と其の產狀

田上山產の一礦物
本邦產燐灰石の特質的構造に就いて
綠泥礦物のハロミロリスに就いて

平野の地形面と其の成因
和歌山縣溫州蜜柑栽培地の環境に就いて

鈴木 達夫
横山 次郎
上治寅次郎

松山 基範
川久保實太郎
川久保實太郎

原田 準平
松原 厚
松原 厚

江原 眞伍
大村 一藏
西尾銈次郎

西尾銈次郎
中村新太郎
君塚康治郎

中司 稔
上治寅次郎
原田 準平

高橋 純一
東木 龍七
山崎 直樹